高梁市議会だより

第65号
2026年2月

12月定例会

令和7年度高梁市一般会計補正予算審議
議会とまちづくり協議会の意見交換会開催

高梁市議会だより 2026 2
ご意見はこちらまで■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277
発行 高梁市議会

3月の定例会スケジュール

3/4	水	本会議（議案の上程）
10	火	本会議（一般質問）
11	水	本会議（一般質問）
12	木	本会議（一般質問）
16	月	本会議（議案質疑）
17	火	委員会
18	水	委員会
19	木	（委員会予備日）
25	水	本会議（採決）

※3月定例会への請願・陳情の締め切りは2月24日(火)までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！有権者が求めることも禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 川上 博司
委員 宮田 好夫
委員 藤岡 善行
委員 前野 洋行
委員 川上 雅美
委員 長田 伸彦
編集

高梁市議会ホームページ
◀アクセスはこちらから

新 高梁人名録

江草安彦（えぐさ やすひこ）氏
（1926～2015）

「一人だけ幸せであるのではなく大勢の人と一緒に幸せになりなさい」安彦氏が岡山医科大学附属医学専門部（現在、岡山大学医学部）入学時に母から言われた言葉です。

安彦氏は1950年小児科医師となり、岡山県北の乳児健診を担当しました。そこで想像以上に厳しい現実を目の当たりにしました。障がい児は人目をはばかるように暗い部屋に押し込められている現実がありました。障がい児の痛ましい現実をなんとかしたいと安彦氏は日々考えていました。折しも川﨑祐宣氏（旭川荘設立者）と出会い、互いの構想を語り合う中で旭川荘設立へ共に歩むこととなり、「旭川学園」「旭川療育園」「旭川乳児院」と三施設を次々に設立しました。安彦氏は「医療福祉」を提唱するようになります。「医療福祉」とは、医療と福祉が結びつき、一人の障がい者(児)に対して、チームとして「同じ目標」「同じ目的」を持って支援していくということです。

安彦氏の考えは全国的に広がっていきました。1990年頃から安彦氏の本籍地である川上町（当時）では福祉のまちづくり（望みの丘作業所・川上療護園・川上医療センター・ひだまり苑の開設）が行われていきました。安彦氏の理想を当時の佐藤呈次（ていじ）川上町長と共に実現する取り組みでした。また、今なお備中町平川地区で40年以上続く「平川家庭学校」は障がい者（児）が地域と一体となって活動する安彦氏の理想を実現したものです。安彦氏の人生は「大勢の人を幸せにした」人生でありました。

川上医療センター・ひだまり苑

人物写真・資料提供：旭川荘

今号の表紙

高梁市立成羽中学校

成羽中学校の探究学習は、「自分たちの町に貢献したい」という一貫した思いのもと、3年間で学びがつながるよう構成されています。3年生では「先人に学ぶ」を継続し、沖縄平和学習では広島との比較や戦争体験者の気持ちを考え、自分たちの行動を考察しました。

生徒たちは全学年で課題を「自分事」として捉え、最後までこだわりを持って取り組み、その成果を発表しました。

あとがき

この号が発行される2月後半頃には小さな春が感じられる気候となっていることでしょう。日本人は古来より四季に合わせた生活を営んでいますが、最近では時代の変遷とともに次第に廃（すた）れていっていると感じます。

私自身も季節の行事に参加し、次代に伝えなければと考えます。「冬来たりならば春遠からじ」人生になぞらえれば、苦しい時期を耐え抜けば幸せな時期が必ず来るという例えにも使われます。

市民の皆様が安心して生活ができますよう私たち議員も市民の皆様の声をお伺いし、市議会の場で反映させていかなければと考えています。

（金尾 恭士）

令和7年度高梁市一般会計補正予算審議

傍聴お待ちしております！

令和７年第４回高梁市議会定例会では、市長提出の議案等２２件を原案のとおり可決しました。併せて、追加提出された議案11件を原案のとおり可決しました。また、議員発議の議案１件を、原案のとおり可決しました。

9月豪雨災害復旧予算ほか審議

総務産業委員会

総務産業委員会に付託された案件は、議案19件です。

議案第93号「令和7年度高梁市一般会計補正予算（第3号）」では防災マップの作成時期と配布方法、超過勤務手当の発生要因と抑制方法、会計年度任用職員の期末手当の増額要因、野猿パトロールの増額要因、河川修繕工事や災害復旧工事などの各種工事の場所と内容など、詳細にわたり質疑がありました。

委員からは、予算には賛成するが、災害復旧工事の執行に当たっては、過去の事例を繰り返さず、適正な事務処理をお願いするといった旨の意見があり、議案第93号については、全員一致で原案のとおり可決するべきものと決しました。

次に、議案第１００号「令和7年度高梁市水道事業特別会計補正予算（第1号）」では人工衛星を利用して漏水の疑われる場所を絞り込むという新しい技術やこの技術がもたらす効率的な漏水修繕への期待など、詳細にわたり質疑がなされ、議案第１００号については、全員一致で原案のとおり可決しました。

次に、議案第１０３号「高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例」では人事院勧告に基づく期末手当の引き上げと行財政改革の強化集中プランによる給与カットとの整合性、県内他市の改定予定など、詳細にわたり質疑があり、議案第１０３号については、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決するべきものと決しました。

iPadの更新について議論

市民文教委員会

市民文教委員会に付託された案件は、議案16件です。

議案第92号「財産の取得に関し議会の議決を求めることについて」は、GIGAスクール構想における学習者用端末（iPad）を１５７８台更新することについて、岡山県が進めるプロポーザル方式による共同調達に至った経緯、iPadの県内採用状況はクロームブックが約90％に対してiPadは10％未満であることについて教育委員会は県内の状況を把握していなかったのか、令和8年度の中学校3年生英語の全国学力テストがオンラインで実施され、iPadのタイピングは全国学力テストに対応できるのかなど、多岐にわたる質疑がありました。議案第１０５号「令和7年度高梁市一般会計補正予算（第4号）」は、物価高対応子育て応援手当支給事業について、国の補正予算でこの事業を優先して追加補正した理由、支給対象者、支給時期と支給方法について質疑がありました。

タカコウ×高梁市議会

11月13日、県立高梁高校の2年生が議場で地域課題に提言を行いました。

高梁高校のキャリア探究プログラム「方谷学」の一環として、2年生が1年間かけて取り組む探究プロジェクト「方谷ゼミ」の代表班が市議会に対して取り組みの発表と意見交換を行いました。

テーマ①では、障がい者ヘルプマークの提案や高梁市役所福祉課への協力を、テーマ②では、学校と地域との連携や学校間の連携を、テーマ③では、健康ポイントの導入による医療費の削減と地域経済の活性化など、これまでの探究学習の成果が発表されました。

議員からは、行政へどう働きかければいいのか、議会に何を求めるのかといった意見が出されました。

高校生からは、自分たちがやりたいことに対する大人の意見や議会の意見が聞けて良かった、緊張感の中でもしっかりと発表できたといった意見がありました。

今回の取り組みを一つの契機として、高梁市と高梁高校が共に築く「学びと地域の循環」が広がっていくことを議会としても期待しています。

テーマ①

障がい者が過ごしやすい環境にするにはどうすればいいのか

テーマ②

融合する学校のカタチ
～大規模校のメリットを小規模校に取り入れるには～

テーマ③

健康ポイントでお小遣いを稼ごう

地域の声を市政へ

議会とまちづくり協議会の意見交換会

高梁会場

税や社会保険料の負担が重く、市民は努力しているのに見返りが感じられない。財政難なら国にもっと働きかけて財源を確保すべきではないか

地域の課題をどう乗り越えるか

令和7年10月21日に高梁会場、川上会場、10月23日に有漢会場、11月12日に成羽会場、備中会場において、合計99名の方に参加いただき、意見交換会を行いました。

今回の意見交換会は、議員を所属委員会で2班に分け、地域局単位で行いました。高梁、備中では市政全般について、有漢では「有漢学園を核とした地域づくり」、成羽では「地域課題に対するこれからのまちづくり協議会の在り方について」、川上では「議員から見た川上地域の課題」をテーマに、意見交換を行いました。

各会場とも少子高齢化と過疎化が進む中、移住定住の促進や荒廃地の対策、インフラの整備など、それぞれの地域の課題が多く出されました。

議員からは、行政の取り組みや議会で出された課題、他の地域や自治体の取り組み等を説明しました。

また意見交換で出された意見・提言は、それぞれの委員会で仕分けし、市に伝えるべきものは議会として担当課に提出し、議会ホームページに掲載していきます。

今後も年2回を目途に意見交換会を開催しますので、よろしくお願いします。

みなさんの「声」を届ける！市への提言・要望までの流れ

出された意見を分野別に整理し、委員会ごとに振り分ける

↓

委員会で協議を行い、問題点や課題を明確にする

↓

- 政策立案や提言につなげる
- 市民からの要望として担当課に伝える（必要に応じて回答を求める）

備中会場

新規就農者に対する補助金を増額すべきではないか

川上会場

川上町の畑地かんがい施設が老朽化し、多額の更新費用が掛かる。市で対応すべきではないか

有漢会場

有漢町で耕作放棄地、空き家、農地などの情報を一元化し、移住者が農業と子育てをしやすくしたい。トラブル防止のため地域の組織や町内会長のレクチャーが必要ではないか

備中会場

備中診療所での処方箋の方法が変更されたことが十分に周知されていないのではないか

成羽会場

コミュニティ協議会では地域が合同で事業をしても片方にしか交付金が出ない。どうにかならないか

平松 久幸 議員

議案第92号の学習者用端末を更新するための議案に対して、iPad 15 78台8670万8787円と高額な契約にもかかわらず、競争入札ではないので公平性、透明性の欠如を懸念する。また、市内業者が新規参入を阻害されていることへの懸念がある。そして、学校現場からの意見も十分聞き取っていないことから反対する。

高梁市議会議員の期末手当を増額する乙議案第5号についても、財政を指摘するのなら議員自ら「身を切る改革」に取り組むべきであり、反対する。

長田 伸彦 議員

上程されたすべての議案について、賛成の立場で討論をする。

議案第103号においては、市長・副市長・教育長の給与カットという方向性がすでに示されていることを踏まえ、期末手当の引き上げは人事院勧告に基づく制度調整であり、妥当である。

議員期末手当についても同様であり、人事院勧告に基づく期末手当の引き上げを行財政改革の一環として議論すべきは、期末手当ではなく報酬であり、責任ある報酬の在り方は今後しっかり議論していくべきである。

金尾 恭士 議員

議案第103号及び乙議案について反対の立場で討論する。行財政改革強化集中プラン（案）が発表され、令和8～10年までの3年間で4.9億円の財源確保との計画が明示された。本市の厳しい財政を鑑みるならば、報酬審の対象にならない期末手当についても引き上げは行うべきでない。議案第103号と同様、私たち議員も高梁市の財政を厳しく指摘するのであれば、当然のごとく期末手当の引き上げは行うべきでないと考える。行財政改革強化集中プラン（案）という名のもとに市民サービスが疎かにならないように重ねて要望する。

藤岡 善行 議員

議案第103号及び乙議案第5号の2議案に反対の立場で討論する。いずれも市長、議員の期末手当増額であり、非常に厳しい生活を余儀なくされている市民の皆さんの暮らしを見たときに、適切とは思えず反対する。

議案第80号は市営住宅等に係る連帯保証人の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例であり、住宅困窮者に寄り添う改正であり賛成する。議案第92号の財産の取得に関し議会の議決を求めることについても賛成するが、今後市内業者も参加できるよう要望する。

小林 重樹 議員

全ての議案に賛成の立場で討論を行う。議案第102号から第104号まで並びに乙議案第5号については、人事院勧告に基づく給与等の改定やその趣旨に沿った手当等の改定である。「勧告」は法的に拘束されるものではないが、「事実上の拘束」がある中で、財政難である自治体においても完全実施をしている自治体が多く見られる。

議会として、引き続き行財政改革の推進と財政健全化に努めることを執行部に求めつつ、本市行政を支える職員の適正な処遇を確保する観点から、これらの議案に賛成する。

12月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成　●：反対

議案番号	件名	榎	前野	川上雅	藤岡	小黒	長田	松岡	平松	金尾	森	宮田好	小林	倉野	川上博	宮田公
議案第92号	財産の取得に関し議会の議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
乙議案第5号	高梁市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。　※他の議案は全会一致で可決しました。

一般質問 ここを聞きました！

12/4（木）

代表質問 高梁政志会 **小林 重樹**
- 石田市政について
- 令和8年度予算編成について
- 高梁市行財政改革強化集中プラン（案）について

金尾 恭士
- 教育行政について
- 農業振興について
- 障害者支援について
- 情報セキュリティ対策について
- 行財政改革と市民サービスについて
- 市職員のコンプライアンス条例制定について
- 観光行政について
- 防災対策について

宮田 公人
- 選挙公約の実現状況について
- 行財政改革について
- 地方創生2.0の取組について

宮田 好夫
- 市内の高等学校について
- 高梁市地域公共交通計画について
- 地域市民センターについて

倉野 嗣雄
- 施設管理について
- 町内会支援について
- 市長の政治姿勢について

12/5（金）

藤岡 善行
- 市長就任から1年、本市の現状に照らし合わせ、公約実現への進捗状況及び令和8年度予算編成について
- 当面の緊急物価対策について
- 訪問介護事業所支援について
- 農業の振興について
- 鳥獣被害対策について

榎 隆宏
- 行財政改革について
- 市道の維持管理について
- 農業者支援について
- 教育施設の維持管理について

長田 伸彦
- 消防職員の増員に向けた条例定数の見直しについて
- 通所介護と地域の暮らしを支える共同送迎事業に関する市の姿勢について
- 人口減少と行財政改革の中でも、支援が途切れず届く福祉体制をどう構築していくのか
- 市の直営施設である鶴寿荘と成羽長寿園の今後について
- 成羽病院と高梁市の医療提供体制に関する基本的な考え方について

平松 久幸
- 行財政改革について
- 石田市長就任1年を経過して、公約実現の進捗と、今後の方針について
- 成羽病院及び鶴寿荘の経営について
- 健幸都市たかはしの取組について

前野 洋行
- 令和8年度予算について
- 空き家対策について
- 公共用地の跡地活用及び管理について
- 地域支援制度について
- 地域公共交通について
- 山田方谷150年祭記念事業について

12/8（月）

川上 雅美
- 市立高等学校について
- 買物弱者について
- 大人の里山留学について
- ラ・フォーレ吹屋について
- 高梁市少額物品調達等契約希望者簡易登録制度及び入札参加資格制度について

森 和之
- 成羽病院の現状と経営改善について
- 特別養護老人ホーム鶴寿荘の今後について
- 驢庵について
- 市街地の町並み整備について

小黒 ゆかり
- 「小規模校に大規模校のメリットを取り入れるためには」について
- 廃校となる小学校の跡地管理について
- スクールバスについて
- 鳥インフルエンザについて
- パッカー車について

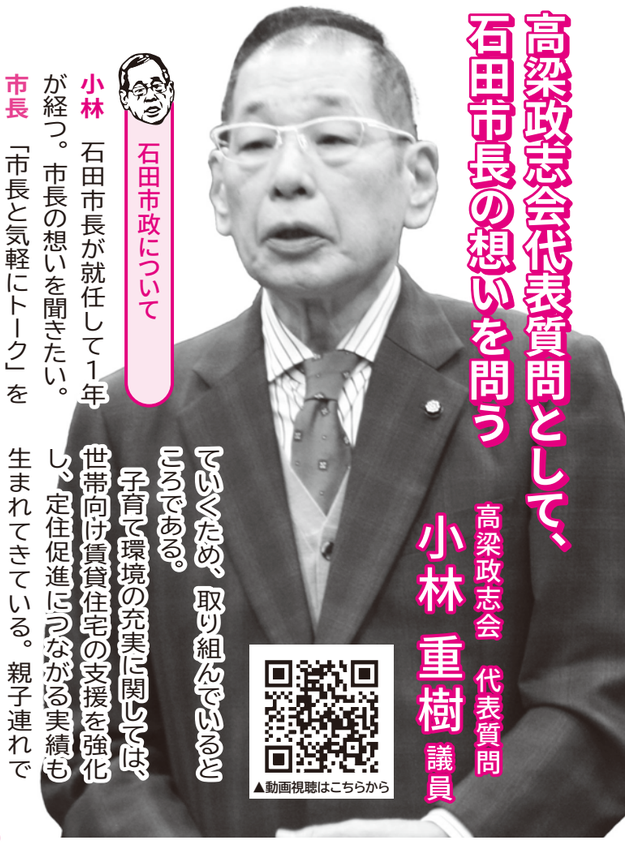
松岡 隆雄
- 防災について
- 県道新見川上線について
- 備中診療所の院外処方について
- 学校教育について

川上 博司
- 観光政策について
- 空き家対策について

高梁市議会 YouTube公式チャンネル **配信中！**
高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。

高梁政志会代表質問として、石田市長の想いを問う

高梁政志会　代表質問
小林 重樹 議員



▲動画視聴はこちらから

石田市政について

小林　石田市長が就任して1年が経つ。市長の想いを聞きたい。

市長　「市長と気軽にトーク」を実施し、市民の声を市政運営の基盤づくりに反映する取り組みが着実に進んでいると感じている。

また、職員の意識改革については、全庁的な業務の見直しや組織改編を行うとともに、行財政改革の「強化集中プラン」の検討を通じて、庁内には自ら考え改善する姿勢が徐々に広がっているのではないかと考えている。

財政の健全化については、「強化集中プラン」の策定や事務事業の見直し、歳出抑制の取り組みを計画的に進め、将来にわたり持続可能な財政構造を確立していくため、取り組んでいるところである。

子育て環境の充実に関しては、世帯向け賃貸住宅の支援を強化し、定住促進につながる実績も生まれてきている。親子連れでも遊べる公園の整備については、身近な公園から着手できる見通しが立ってきているが、給食費の完全無償化については、まだ実現に至っていない。

できたこと、できなかったことを考える中で、市民の意見にもしっかりと耳を傾けながら、ウェルビーイングの考え方を取り入れて、市民が幸せを実感できるまちづくりを進めていきたい。

ウェルビーイングとは
心身ともに健康で安心して自分らしく暮らすこと。

令和9年4月の川上中学校再編は白紙撤回すべき

金尾 恭士 議員

▲動画視聴はこちらから

川上中学校学校再編について

金尾　教育長に就任された直後、11月25日の第3回川上中学校区学校再編準備委員会に参加された教育長の率直な感想を問う。

教育長　再編の結論は簡単に答えが出るものではないと改めて感じた。これからも対話も重ね、誠意ある対応を継続していきたい。

金尾　市教委が令和9年4月の統合を目指していることについて、教育長の考えを問う。

教育長　地域の方に寄り添い、延長を考えることも、心の中にはあるが、無理強いではなく、皆さんの声を真摯に受け止めながら、令和9年4月を念頭に、合意形成を図っていく努力を継続していきたい。

金尾　アンケートの結果、統合については反対、または今ではないという意見が75%。生徒の皆さんも「自分の学校がどうなっていくのか」という不安を感じている。数年の時間をかけて合意形成が必要ではないか。

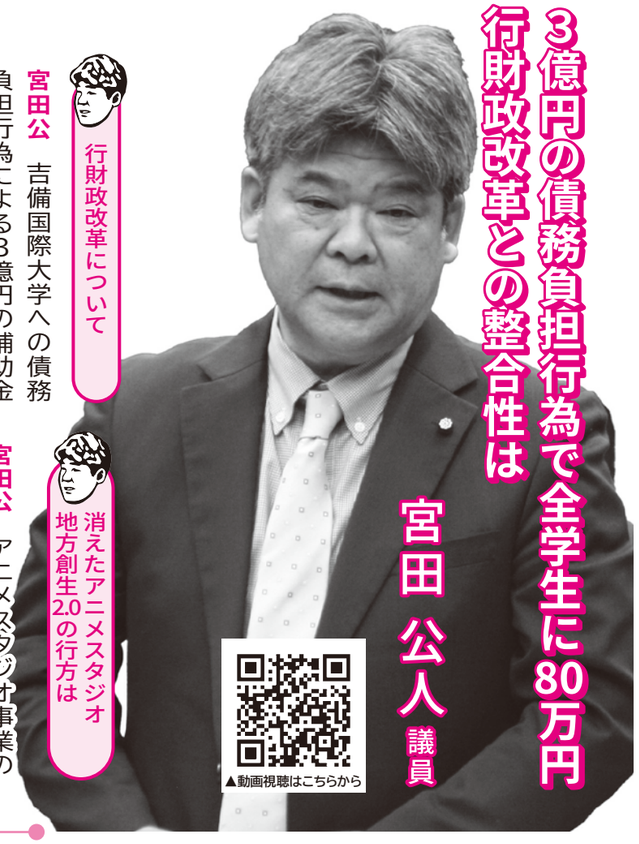
教育長　数年をかけていきたいが、私どもがどのような根拠をもって現在に至ったかを丁寧に説明していきたい。委員の方だけとの対話では全ての方の思いに対応できないということを、この度の会議の中で感じた。

金尾　令和9年4月の川上中学校再編は白紙撤回すべきだ。

教育長　白紙撤回については、すぐに「そのとおり」とは申し上げられない。この場では、誠意あるお話を続けていきたいと申し上げるしかない。

3億円の債務負担行為で全学生に80万円
行財政改革との整合性は

宮田 公人 議員



▲動画視聴はこちらから

行財政改革について

宮田公　吉備国際大学への債務負担行為による3億円の補助金など多額の支出について見直しを行わないのか。

企画財政部長　3年間の債務負担行為により年1億円を支出し、全学生に年20万円を4年間給付する奨学金制度を実施している。

当該債務負担行為は、令和9年度で終了することから、来年度中に令和10年度以降に向けた支援策の検討を進めていく。

消えたアニメスタジオ 地方創生2.0の行方は

宮田公　アニメスタジオ事業の失敗により、8945万5900円もの予算が無になってしまった。地方創生1.0の反省を次の事業にどのように生かしていくのか。

企画財政部長　事業内容や必要性については、予算編成の過程において議会で審議いただく中で、適切に説明責任を果たしていきたい。

まちづくり拠点の充実を

宮田 好夫 議員

▲動画視聴はこちらから

市立定時制高校について

宮田好　宇治高校、松山高校について新教育長はどのような思いを持っているのか。

教育長　定時制高校の重要性は認識している。両校の在り方をさらに充実させていきたいと考えている。

地域市民センターについて

宮田好　本市では、地域の活性化を図る拠点が地域局や地域市民センター、公民館、連絡所と認識している。厳しい財政だが、今後もこのことに変わりはないのか。

市長　私も同様な認識なので、行財政改革の項目にあった地域市民センターを含む出先機関の見直しを削除している。

高梁市のまちづくり組織（合計45地区）

高梁地域 まちづくり協議会	有漢地域 まちづくり協議会	成羽地域 まちづくり協議会	川上地域 まちづくり協議会	備中地域 まちづくり協議会
10地域のまちづくり推進委員会（旧小学校区を基本とした単位）	町内を8地区に区分けした単位	コミュニティ単位（旧小学校区を基本とした単位）10地域	コミュニティ単位（旧小学校区を基本とした単位）9地域	コミュニティ単位（旧小学校区を基本とした単位）8地域

廃校となっても管理費はかかる どうするのか

倉野 嗣雄 議員

▲動画視聴はこちらから

施設管理について

倉野　廃校となった学校の浄化槽の管理費は、年間いくらかかっているのか。

企画財政部長　旧平川小学校が9万円、旧高山小学校が19万円、旧湯野小学校が6万円、旧西山小学校が5万円、旧備中中学校が14万円、合計で年間53万円かかっている。

倉野　避難所となっている廃校の浄化槽を廃止して、災害時には仮設トイレで対応する考えはないのか。

企画財政部長　廃校施設をそもそも指定避難所と位置付けることが適切なのかどうかについて総合的に見直していきたいと考えている。

町内会支援について

倉野　人口減少と高齢化によって町内会の維持が困難になってきている。金銭的にも地域集会所の経費さえ苦慮している。何か打つ手はないか。

市民生活部長　令和7年度から新たに地域支援検討会議を立ち上げて、地域維持活性化策を検討しており、課題の把握と支援策の強化といったところも図っていきたいと考えている。町内会や地域のコミュニティの機能維持につながる取り組みを今後進めていきたい。

市民の生活が一番

藤岡 善行 議員

▲動画視聴はこちらから

約5億円の収支不足について

藤岡　約5億円の収支不足の原因をどう見ているのか。

企画財政部長　最近の急激な物価変動や人件費の上昇など外部要因が重なったことと考えている。

藤岡　今後においてどのように改善していくのか。

企画財政部長　来年度からの3年間において「強化集中プラン」を実施し、収支不足の解消に取り組む。

学校園の給食の無償化について

藤岡　学校園の給食費の無償化について、今一度市長に問う。

市長　国の方針は、小学校からということ。市の現在の財政状況を鑑みながら完全無償化に向けて取り組んでいきたい。

当面の緊急物価対策について

藤岡　水道料金を無料化または値下げできないか。

土木部長　水道事業は独立採算で運営されている。現状は、非常に厳しい経営状況。国の交付金等新たな財源が確保できれば水道料金の負担軽減に取り組んでいく考えは持っている。

福祉的な相談窓口について

藤岡　福祉的な要素を踏まえた相談窓口を設置できないか。

健康福祉部長　高梁総合福祉センター内に「高梁市生活あんしんサポートセンター」を設置し、生活困窮にある方などへ支援を行っている。

行財政改革強化集中プランを見直すべき!!

榎 隆宏 議員

▲動画視聴はこちらから

行財政改革について

榎　令和5年度の計画が甘かったのではないか。今後のことを考えると、プランの数値目標は不十分であり、抜本的な見直しをするべき。

企画財政部長　計画策定時から物価高騰をはじめとする不測の事態が生じたため、これに対応する「強化集中プラン」を新たに追加した。今後は長期的な財政運営のため、聖域なく事業の見直しに取り組む。

榎　管理職の勤勉手当削減は予算削減の効果がわずかであり、逆に士気を下げ、退職の引き金になりかねない。先に、年間1億2千万円超の超過勤務手当削減のため、事業を削減すべき。

企画財政部長　管理職の勤勉手当の削減は、市民負担をお願いする前にまず職員が身を切る姿勢を示す必要があることから苦渋の決断として実施するものであり、3年間の限定対応である。併せて、超過勤務手当についても業務の見直しなどにより、引き続き抑制に努めていく。

榎　事業のゼロベース見直しが形骸化している。市長の強力なリーダーシップで改革を断行すべき。

市長　現行ベースでは無理と認識し、プランを策定した。危機感を持って取り組む。大型施設等の見直しに着手しており、批判を恐れずリーダーシップを発揮する決意である。

安心が市民に届いていると言えるのか?

長田 伸彦 議員

▲動画視聴はこちらから

消防職員を増員すべきでは

長田　昨年度は市に4台ある救急車が全て出動するという事案が18件発生。その際要請があったらどうなる。高梁市は67人、新見市は80人体制である。消防職員を増員すべきではないか。

市長　重複出勤で勤務人員が不足する時は、非番者や日勤者で対応して、救急出動が遅れた案件はない。

長田　安心が市民に届いていると言えるのか。

市長　まずはこの状況でしっかりと市民の安全・安心の確保に努めていきたい。

鶴寿荘の廃止か存続かだけでなく成羽長寿園で介護サービスを提供するという合理的な方向もあるのではないか

長田　コンサルティングで示された鶴寿荘の3つの方向性、とりわけ廃止案についての認識は。

健康福祉部長　赤字解消だけでなく、市全体として最適な方向性となるよう検討する。

長田　市営施設である成羽長寿園では介護サービスを提供できない。できるように県から特定施設の指定を受けてはどうか。

健康福祉部長　人員や施設基準が解決できれば検討の余地がある。

長田　もし鶴寿荘が廃止の方向であれば、そこで働く介護職の方は成羽長寿園の方の入居者支援にも大きな力になると考える。

市長自ら「先ず隗（かい）より始めよ！」と言われた行財政改革強化集中プランだが、何から着手するのか!?

平松 久幸 議員

▲動画視聴はこちらから

行財政改革について

平松　特別職給与カット（市長10％副市長7％教育長5％）に取り組むことによる効果を問う。

企画財政部長　本市の厳しい財政を踏まえ、特別職が率先して「身を切る姿勢」を示す必要がある。財政的な効果は、3年間で800万円程度を見込んでいる。

平松　歳入の確保で新たな財源の獲得とある。具体的な取り組みを問う。

企画財政部長　国の補助金等に関する情報の収集や事業との適合性の精査をするとともに、計画内容の向上に努める。必要に応じて、市長自ら国・県に対し直接要望活動を行う。

平松　近年の補助金採択率を問う。

企画財政部長　各事業でばらつきはあるが、概ね7～8割である。今後も有利な財源の獲得に取り組む。

平松　税等の収納率向上、滞納繰越額の抑制、徴収強化の取り組みは今と何が違うのか。

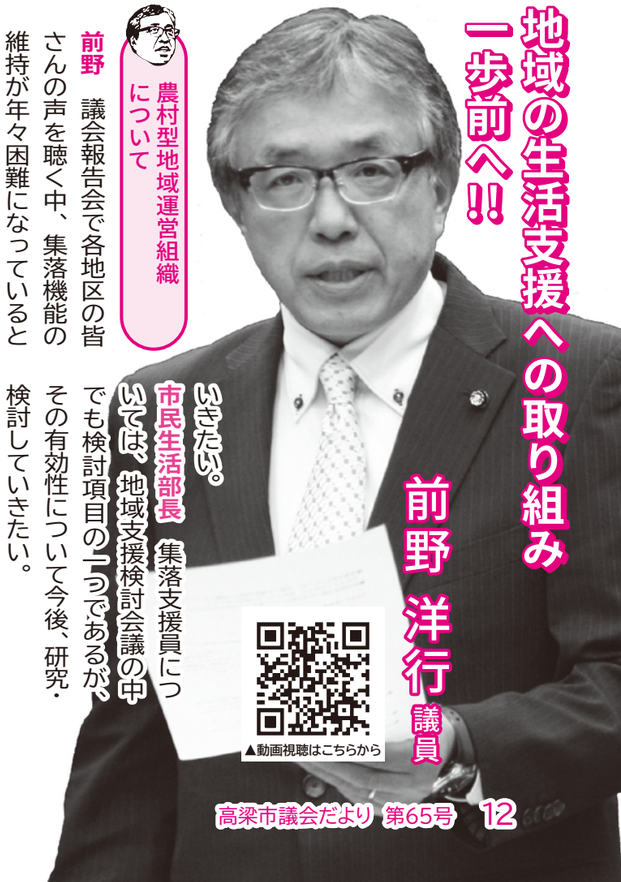
企画財政部長　体制強化を図ることで初動対応の早期化、情報共有や進捗管理の徹底をし、安定的な財政運営を目指す。

平松　納付が難しい方への相談支援など、これまでどおりの配慮は続けていくのか。

企画財政部長　「強化集中プラン」における徴収強化は、収納率向上や滞納繰越額の抑制を目的としたものであり、納付が困難な方への配慮を軽視したものではない。相談などについてはこれまでどおり継続していく。

地域の生活支援への取り組み一歩前へ!!

前野 洋行 議員



▲動画視聴はこちらから

農村型地域運営組織について

前野　議会報告会で各地区の皆さんの声を聴く中、集落機能の維持が年々困難になっているという意見が多くあった。こうした中で、集落営農組織や中山間地域直接支払組織がまちづくり団体や社会福祉協議会等と連携した「農村型地域運営組織」を設立し、地域の農用地保全や生活支援等を行う地域支援組織の確立が重要だと思うが、集落支援員を配置する等、そのサポート体制を整備し、本市として取り組むことはできないか。

産業経済部長　現在のところ、市内でそういった支援組織はないが、今後要望があるようであれば、様々な面で支援を行っていきたい。

市民生活部長　集落支援員については、地域支援検討会議の中でも検討項目の1つであるが、その有効性について今後、研究・検討していきたい。

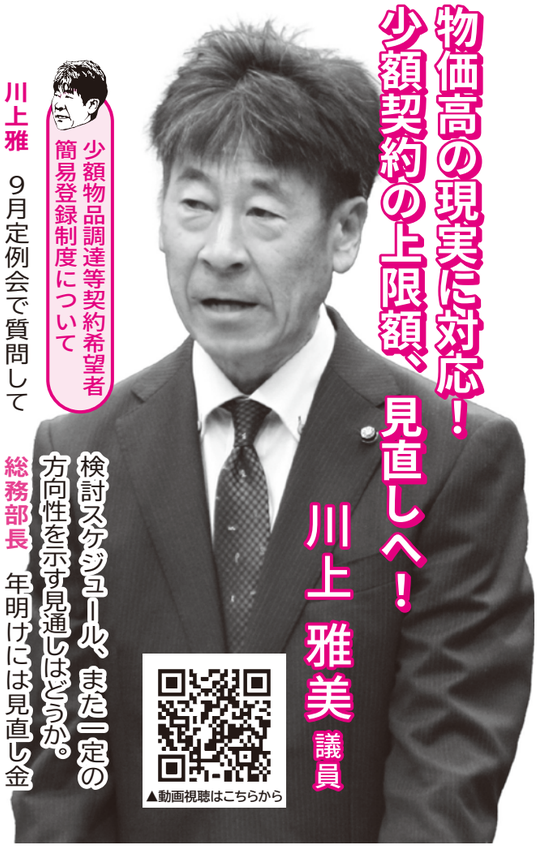
高梁市街地南部への循環バスの導入について

前野　市街地南部の買い物支援について、十数年前にも実証運行が行われており、実現に至らなかった経緯は承知しているが、商店の閉店等、当時とは生活環境が大きく変化する中、市街地南部への循環バスの導入を検討できないか。

市民生活部長　市街地の道路整備に合わせ、路線バスのルート変更や循環バス運行の再検討について前向きに進めてまいりたい。

物価高の現実に対応！少額契約の上限額、見直しへ！

川上 雅美 議員



▲動画視聴はこちらから

少額物品調達等契約希望者簡易登録制度について

川上雅　9月定例会で質問してから制度の上限額の見直しに向けて、市としてどのような検討を進めてきたのか、現時点での進捗状況、また方向性はどうか。

総務部長　物価高騰、人件費の上昇も継続していること、他市においても物品購入や役務業務について、10万～30万円を少額な物品調達等契約可能金額として運用していること。また、上限額を見直すことによって、入札や見積もり合わせの執行における影響も限定的と見込まれることなどから、現状の物品購入・10万円、修繕業務や工事請負費・30万円の契約可能な金額を引き上げたいと考えている。

川上雅　見直しに向けた今後の検討スケジュール、また一定の方向性を示す見通しはどうか。

総務部長　年明けには見直し金額を決定し、登録事業者へのお知らせ、職員への周知などを行い、令和8年4月実施に向けて対応していく。

宇治高校特別教室改修について

川上雅　令和4年に旧宇治小学校舎へ移転し教育活動されているが、特別教室については、机や調理台等が小学生仕様のため旧校舎を使用している。完全移転のための改修工事をする考えはないのか。

教育次長　旧宇治小学校舎内に移設できるよう令和8年度に改修を実施する方針で検討中。生徒の安全性の確保、教育環境の充実が図れると考えている。

コンサルティングの進捗状況が報告されたが実現できるのか

森 和之 議員

▲動画視聴はこちらから

成羽病院の現状と経営改善について

森　成羽病院の経営改善についての進捗状況の報告を市長はどう受け止めているのか。

市長　成羽病院はへき地拠点病院であり、民間では進出できない不採算部門も多く抱えているからこそ、公で見ていかなければならないと考えているが、今の厳しい経営状況だと続けていくのが困難であると思っている。

医療計画を持つ本市として、これからの医療ニーズに応えられるような病院に立て直していきたい。医療としての責任はしっかりと果たしながら、スピード感を持って成羽病院の改革についてはリーダーシップを持って決断していく。

森　成羽病院の問題については、市長の決断にかかっている。英断を望む。

特別養護老人ホーム鶴寿荘の今後について

森　特別養護老人ホーム鶴寿荘の現状と方向性（案）について市長の考えを聞きたい。

市長　介護職員の不足と入所者の確保が難しい状況が進み、施設収入が伸びず非常に厳しいと感じている。

本市の特別養護老人ホームのニーズを踏まえ、コンサルティング最終報告を検討した上で、入所者の生活を最優先に設置者として判断していきたい。

今の高梁市にとって、若者の、高校生の意見は本当に貴重である

小黒 ゆかり 議員

▲動画視聴はこちらから

小規模校に大規模校のメリットを取り入れるためには

小黒　高梁高校の探究学習報告会の中で、小規模校に大切なのは「地域・生徒数・校風に合わせて個々に最善を尽くすこと」と発表があったが、市としてどのような取り組みが考えられるか。

教育次長　学校の規模を問わず、どこの学校でも一定の水準の教育を提供することが私たちの使命である。教育格差をなくし学びを充実させ新しい時代を生き抜く力を育んでいきたい。

スクールバスについて

小黒　親の送迎がなくても、子どもだけで通学できるような手助けはできないか。

市長　子どもたちの安全、交通機関の有無、経費を総合的に見て、何が本当に公平で安全か、教育長とも一緒に考えたい。

鳥インフルエンザについて

小黒　発生した場合、養鶏場への道幅は狭く車をかわす場所がないが。

産業経済部長　全路線の改良は難しいが、待避所を設ける計画はしていきたい。財源の確保についても要望を出しているところである。

パッカー車について

小黒　パッカー車が老朽化しているが更新は考えてないのか。

市民生活部長　更新について検討しているところではある。

豪雨災害の早期復旧を

松岡 隆雄 議員

▲動画視聴はこちらから

豪雨災害の被害・復旧状況と支援

松岡　備中地域の豪雨災害における被害状況は。

総務部参与　家屋については、土砂流入が8件、床下浸水が2件発生。市道・河川は、倒木や路肩崩落などにより75件の被害を確認。農道・農地は39件の被害があり、このうち農地は29件・18戸で、23件が水田である。

松岡　復旧状況と今後の見通しについては。

総務部参与　家屋については、見舞金の支給、土砂除去扶助給付決定を行っている。道路は災害発生当初から復旧に取り組んでおり、現在は市道3路線、県道4路線、林道1路線が通行不可となっている。農地については、一定規模以上のものは、令和8年度内に順次復旧を進めていく予定である。なお、県道については復旧に長期間を要する見込み。

松岡　国や県への要請状況、補助金・交付金の活用状況については。

総務部参与　国の災害査定を受けている。また、11月14日付で激甚災害の指定を受けた。

松岡　補助制度の内容や復旧の進捗状況を簡潔にまとめた資料を市が作成し、住民に対して説明会を実施してほしい。今後も国・県との連携を強化し、各種補助制度を最大限に活用して、住民の生活が一日でも早く通常に戻るよう、引き続き積極的に取り組んでもらいたい。

激甚災害指定とは
被害が特に大きい場合に国が指定する災害で、復旧に対する国の支援が手厚くなります。

交流人口より関係人口を増やす対策を推進すべきではないか

川上 博司 議員

▲動画視聴はこちらから

体制を整えており、空き家情報バンクのウェブサイトも刷新し利便性の向上を図っている。

観光政策について

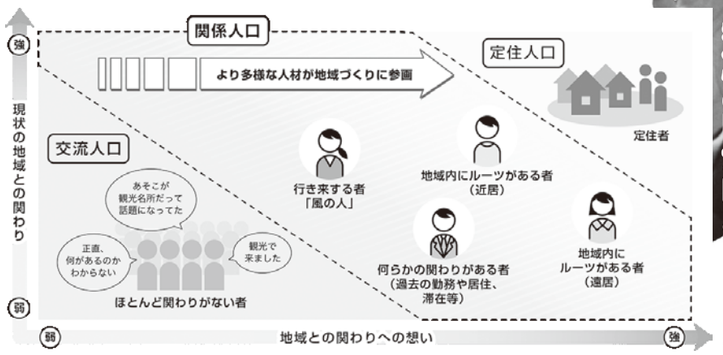
川上博　交流人口より関係人口を増やす対策を推進すべきではないか。

市民生活部長　総合計画に関係人口に関する施策を設ける予定である。ふるさと住民登録制度等の国の動向も注視しながら関係人口の創出と拡大に取り組んでいく。

空き家対策について

川上博　所有者が、空き家バンクに登録しやすいように工夫すべきではないか。

市民生活部長　高梁観光交流センター内に設置した「高梁市空き家と移住の相談窓口」では、相談内容によって最適な空き家の出口戦略をアドバイスできる



（総務省 二地域居住・関係人口ポータルサイトより）

CHIKUSEI CITY

筑西市を訪問

筑西市と高梁市は、平成19年に友好都市を再締結し、平成30年西日本豪雨災害ではいち早く職員の派遣をいただきました。下館藩（現在の筑西市）二代藩主水谷勝隆（みずのやかつたか）公が1642年備中松山城主藩主として入城したのが両市の交流の機縁です。水谷氏は三代にわたり城主を務め、飛地である玉島港の整備や高梁川の高瀬舟による航路開発などを行い現在の高梁市の基盤形成に大きく寄与しました。

これからも行政・議会間の交流を通じて連携を強化するだけでなく、歴史と文化を共有する友好都市として交流事業の充実を図ってまいります。

水谷家菩提寺　定林寺

歓迎の様子　筑西市役所